

目標達成計画

作成日：平成 27 年 3 月 12 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	「最後まで安心して暮らせるグループホーム」という事業所の理念を実践し看取り介護を行っているが、今後は職員全員が終末期に同じように対応できる様、更なるスキルアップを目指すことが必要。	ご利用者に、残った人生を安心して任せて頂けるようになり、またご家族にも納得を頂ける、看取りをホーム全体で行えるようになる。	外部研修があれば、積極的に参加をする。研修報告を踏まえて、他の職員にレクチャーを実施。実際に終末期のケースが発生した場合は、細かくカンファレンスを行い、治療方針・介護方針・ご家族の希望などを周知し実行していく。	6ヶ月
2	13	災害各種が心配され、ホームにおいて避難弱者を抱えている事、有事の際に地域や行政から頼りにされる可能性などを考えて更なる、防災対策・防災訓練・備蓄品の見直しが必要。	食糧などの備蓄品の量を増やし、保管場所を確保する。火災想定での避難訓練のみではなく、防災訓練を実施し、消防署などの指導をあおぎ有事に備える。	食糧などの備蓄品の増量を実施し、市内の災害マップをホーム内に掲示。通常年2回の避難訓練が義務づけられているが、予定の6月を前に独自の防災訓練を実施し、6月の消防立会時の訓練に活かす。備蓄品の保管場所の確保。	6ヶ月
3	14	既に、独自の介護接遇チェックリスト、介護技術レベルアップチェック表を作成し実施しているが、職員全員がわかりやすい内容へ見直すことが必要。	職員全体の介護接遇・技術の底上げを行う。	標準の介護接遇・技術のチェックリストを再度見直し3ヶ月毎に実施していく。それぞれ個別の弱点を把握し、弱点の克服を行い、全体の底上げをする。	6ヶ月
4	2	積極的に地域貢献できる活動が必要。	近隣の皆様からの介護相談を受けたり、介護に関する講習会、介護用品の無料貸し出しなどを行い、地域貢献をする。	市役所・自治会に相談、提案をして実施できるものを地域貢献として行っていく。福祉用具を扱っている事業所との連携を図り、福祉用具の無料貸し出しを行う事により積極的に地域の方々へ貢献できるように努める。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。